

令和4年8月20日・21日

全国保健所長会

公衆衛生医師サマーセミナー PHSS2022

公衆衛生医師が身につけるべき 専門能力・コンピテンシーとは

大阪府健康医療部 宮園将哉

社会医学系専門医が持つべき能力とは

○コア・コンピテンシー

- ・ 基礎的な臨床能力
- ・ 分析評価能力
- ・ 課題解決能力
- ・ コミュニケーション能力
- ・ パートナーシップの構築能力
- ・ 教育・指導能力
- ・ 研究推進と成果の還元能力
- ・ 倫理的行動能力

社会医学系専門医の到達目標

○専門技能

- ・ 社会的疾病管理能力
- ・ 健康危機管理能力
- ・ 医療・保健資源調整能力

○専門知識

- ・ 公衆衛生総論
- ・ 保健医療政策
- ・ 疫学・医学統計学
- ・ 行動科学
- ・ 組織経営・管理
- ・ 健康危機管理
- ・ 環境・産業保健

(出典：社会医学系専門医協会 専門研修プログラム整備基準)

社会医学系専門医の経験目標

○総括的な課題（全項目が必須）

- ・ 組織マネジメント
- ・ プロジェクトマネジメント
- ・ プロセスマネジメント
- ・ 医療・健康情報の管理
- ・ 保健・医療・福祉サービスの評価
- ・ 疫学・統計学的アプローチ

○各論的な課題（全22項目中3項目の経験が必要）

- ・ 保健対策（母子保健ほか 6項目）
- ・ 疾病・障害者対策（感染症対策ほか 4項目）
- ・ 環境衛生管理（生活環境衛生ほか 3項目）
- ・ 健康危機管理（パンデミック対策ほか 5項目）
- ・ 医療・健康関連システム管理
（医療・保健サービスの安全および質の管理ほか 4項目）

では…公衆衛生・行政医師が持つべき能力とは

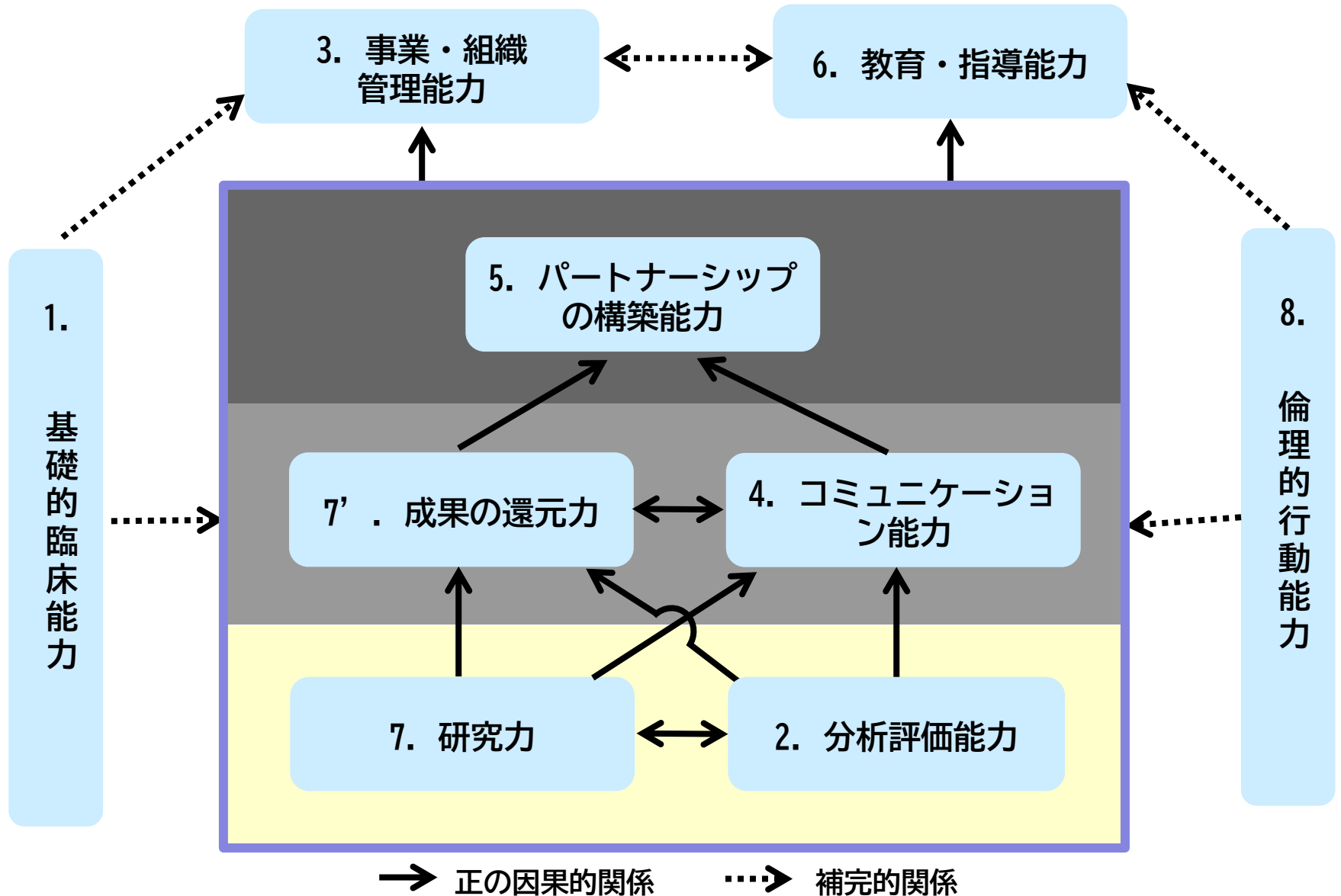
○社会医学系専門医が持つべきコア・コンピテンシー

- ・ 基礎的な臨床能力・分析評価能力・課題解決能力
- ・ コミュニケーション能力・パートナーシップ構築能力
- ・ 教育・指導能力・研究推進と成果の還元能力
- ・ 倫理的行動能力

○その他には？

- ・ 研究推進と成果の還元能力と倫理的行動能力について一部の内容を補完する程度でいいのでは？
- ・ 内容の補完よりも、獲得すべきコンピテンシーに優先順位があるのではないか？

社会医学系専門医が獲得を目指すコアコンピテンシーの階層性



* 出典：大阪府行政医師・歯科医師育成ガイドライン

<https://www.pref.osaka.lg.jp/chikikansen/kousyueiseiishi/index.html>

公衆衛生医師が従事する業務

○自治体、勤務先、役職によって大きく異なる

・都道府県型保健所の場合（例）

医事、薬事、医療計画、医療介護連携・地域包括ケアシステム、健康づくり、生活衛生、感染症対策、難病対策、精神保健福祉 など

・市区型保健所の保健センターの場合（例）

母子保健、成人保健、感染症対策、難病対策、精神保健福祉、健康づくり、医療介護連携・地域包括ケアシステム、高齢介護 など

・都道府県庁の場合（例）

医療計画、医療介護連携・地域包括ケアシステム、救急・災害医療対策、感染症対策、健康づくり、がん・生活習慣病対策、母子保健、難病対策、精神保健福祉 など

・市区役所の場合（例）

医療介護連携・地域包括ケアシステム、感染症対策、健康づくり、がん・生活習慣病対策、母子保健、難病対策、精神保健福祉 など

公衆衛生医師のキャリアパス（私見）

○医師個人で様々なキャリアパスが存在する

- ・ **ファーストキャリア型**

臨床研修終了後すぐに都道府県市に入職。 行政の経験を若手のうちから十分積みながらキャリアアップしていく。

- ・ **セカンドキャリア型**

5～15年程度の臨床経験を積んでから35～40歳ごろに キャリアチェンジ。臨床での経験を踏まえつつ行政でも若手としての経験を積みながらキャリアアップしていく。

- ・ **ラストキャリア型**

25年程度の臨床経験を積んでから45～50歳ごろに キャリアチェンジ。長い臨床経験が公衆衛生行政の中で活かされることも多い。

大阪府の行政医師・歯科医師人材育成の職業モデル事例集

- ・ 社会医学系専門医制度において行政医師を含む社会医学系の医師に求められるコンピテンシーや専門能力が示されたが、その能力がどんな場面でどんな判断や行動を取るときに必要なか、指導医も専攻医も明確にイメージできていない
- ・ 若手の行政医師が業務の中で遭遇した事態の解決や求められた役割を果たす物語を作成し、それぞれの場面で必要となったコンピテンシーを提示する「モデル事例集」を作成し、令和4年9月に公開
 - * 「県庁勤務の主査級（2話）」 「県型保健所の技師級（2話）、課長補佐級（3話）」、「中核市保健所の主査級（1話）」を主人公とする合計8話
- ・ 各事例の主人公の発言や行動、思考過程を追うことで、求められるコンピテンシーや専門能力が、どんな場面でどんな判断や行動を取るときに必要なかを具体的にイメージできるとともに、専攻医と指導医が必要とされる能力を具体的なイメージとして共有できることを目指す

* 出典：行政医師・歯科医師人材育成の職業モデル事例集2022

<https://www.pref.osaka.lg.jp/chikikansen/kousyueiseishi/index.html>

これからの公衆衛生医師が身につけるべき 専門能力・コンピテンシーとは

○社会が医師に対して何を求めるのか

- ・ 医師は患者を診ることを第一に考えるべきではないか
- ・ 医療の専門家としてチーム医療のリーダーであるべき

○社会が行政に対して何を求めるのか

- ・ 医療には社会保障やセイフティーネットの機能を求める
- ・ 行政にはそれを法制度や財政面から支える役割を求める

○公衆衛生医師にはどんな能力が求められるのか

- ・ 基礎的な臨床能力／分析評価能力／課題解決能力
- ・ コミュニケーション能力／パートナーシップ構築能力
- ・ 教育・指導能力／研究推進と成果の還元能力／倫理的行動能力
- ・ 社会的疾病管理能力／健康危機管理能力／医療・保健資源調整能力